

# 野村総研・学生小論文コンテスト

## 尹さん 金さん 特別賞

部の学生  
大学の留

野村総合研究所（東京都）の「NRI学生小論文コンテスト2021」で、高崎経済大学地域政策学部3年の尹思源さん（23）と金秀玫さん（22）の論文が留学生特別賞に選ばれた。和歌山県の老舗旅館でのインターンシップを通して感じた課題解決策を、地域活性化も視野に入れて提案した内容が評価された。

で暮らしたい・安全安心な社会のカタチ」。大学生、高校生の両部門合わせ、3043点の応募があった。大賞、優秀賞、特別審査委員賞、留学生特別賞に計9作品が選ばれた。中国出身の尹さんと韓国出身の金さんは「留学生から見る老舗旅館に対する改善策の提案及び観光まちづくり」と題し、夏休みのインターンシップ中に執筆した。繁忙期と閑散期の

差、労働生産性の低さを課題と捉えて解決策を探り、地方の優良な観光資源の活性化についても論じた。旅館利用者アンケートをしたり、文献やデータを探したりしながら書き上げた。

3次審査、プレゼンテーションによる最終審査の特別審査委員をジャーナリストの池上彰さんが務めた。尹さんは「池上さんから『留学生だから選んだのではなく、論文を見て決めた。作品が素晴らしい』と言われて感激した」と喜んだ。

金さんは「インターンシップの経験を生かしたかったので論文のテーマにした。地域活性化にもつながりたいと思って考えた」と話した。（米原守）

留学生特別賞に選ばれた尹思源さん（左）と金秀玫さん

